

株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月
基準日	定時株主総会関係 毎年8月31日 期末配当金受領株主確定関係 毎年8月31日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載する。 公告掲載URL https://www.saizeriya.co.jp/
株主優待制度	あり

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きについて、詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 サイゼリヤ
〒342-0008 埼玉県吉川市旭2番地5

最新の店舗情報は弊社のホームページをご参照ください



UD
FONT



第51期 年次報告書

2022年9月1日～2023年8月31日

Saizeriya
RISTORANTE E CAFFÈ

La Buona Tavola!

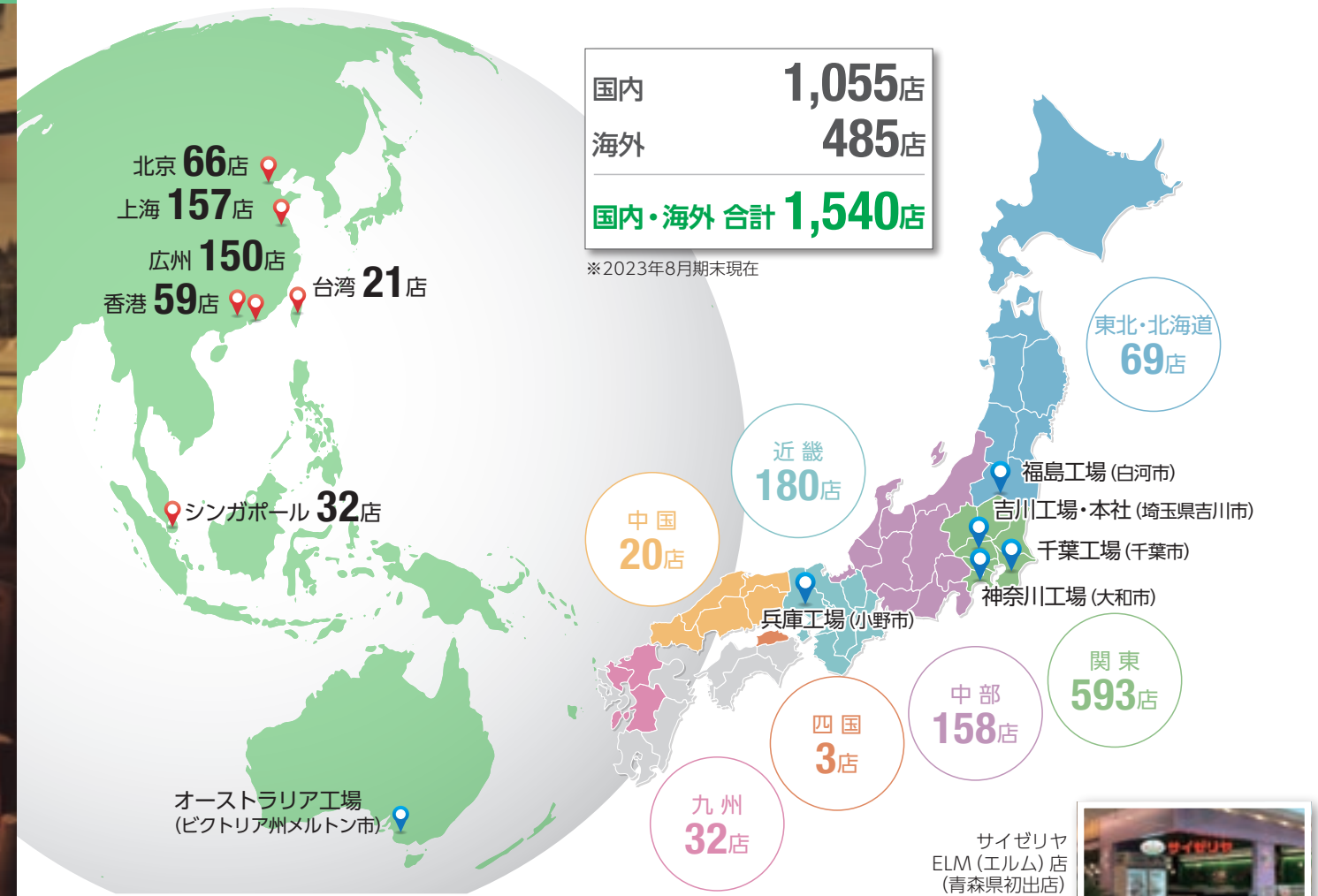
サイゼリヤは、おいしくて健康的なイタリアの家庭料理を、世界中の人々が便利に楽しく食べられることを目指しています。



基本理念

- 人のため
- 正しく
- 仲良く

国内・海外に広がる店舗ネットワーク



新店舗続々オープン!

- 2023/ 7/ 6 【青森県】 サイゼリヤイオンモール下田
- 2023/ 8/10 【兵庫県】 サイゼリヤ西神中央
- 2023/ 8/24 【香川県】 サイゼリヤイオンモール高松
- 2023/ 9/21 【青森県】 サイゼリヤ弘前ヒロロ

- 2023/ 9/26 【埼玉県】 サイゼリヤそよら武蔵狭山
- 2023/11/ 9 【岩手県】 サイゼリヤ水沢あてるい
- 2023/11/22 【香川県】 サイゼリヤ丸亀町グリーン





代表取締役会長
正垣 泰彦

代表取締役社長
松谷 秀治

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症への行動制限緩和による経済活動の正常化に伴い、個人消費意欲の高まり及びインバウンド需要の回復を見せつつあります。しかし、慢性的な人手不足に加え資源価格の高騰と円安による食材価格やエネルギー価格の上昇の影響により、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、真のチェーンストアに向かって動き出しました。2022年10月には、問題解決のスピードを上げていくため、トップ直属のラインスタッフであるスーパーバイザーを設置いたしました。2023年4月には、吉川工場に新商品開発を目的とした設備を新設し、稼働を開始いたしました。今後、店舗作業・商品・組織の改革及びDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に着手し、収益力の底上げを行ってまいります。また、フードロスの削減、エネルギーの効率化による省エネ、プラスチックの再利用等、SDGsに取り組み、ESGを重視した経営活動を行ってまいりました。新たな立地の開発も推進しており、2022年12月には島根県1号店としてゆめタウン出雲店、四国1号店として香川県にイオンモール綾川店、2023年5月には、青森県1号店としてELM（エルム）店を出店いたしました。

これらの取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は、1,832億44百万円（前期比27.0%増）、営業利益は72億22百万円（前期比1,607.6%増）、経常利益は79億49百万円（前期比26.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は51億54百万円（前期比8.9%減）となりました。

今期は、食堂業の産業化に向け、ハード・ソフト両面での革新を推しすすめてまいります。主な取り組みとして、より多くのお客様をお迎えできる店舗の設備改善や組織づくり、各商品の磨き上げによる提供品質向上、食材の供給体制の再構築、店舗作業システムも含めたDX推進による生産性さらなる向上に注力してまいります。また、フードロスの削減、エネルギーの効率化による省エネ、プラスチックの再利用等、SDGsに取り組み、ESGを重視した経営活動を行ってまいります。

～効率の良いビジネスモデルづくりのためのインフラ整備～

代表取締役社長 松谷 秀治

● 組織

～チェーンストアらしい組織への改革～

昨年、スーパーバイザー制を設けることで様々な問題点が上がってくる組織になりました。また、店舗運営部組織を見直し、QSCレベルの向上につながる教育が進む、体制整備を行いました。更に全体を5つのゾーンに分けてゾーンマネジャーを配置し、利益改善につながる組織を目指してまいります。

● 商品

～売れ筋メニューの価値向上～

価格の優位性はもちろんのこと、品質を更に高めてまいります。

無駄を省くと同時に品質を高めるために、売れ筋の見極めをすることで、廃棄ロスの削減と同時に売れ筋メニューの出数増を目指してまいります。また、世界レベルでのソーシングに力を入れ、人気メニューの素材を含めた原材料から見直しを行ってまいります。

● 店舗作業

～単純化と標準化による生産性向上～

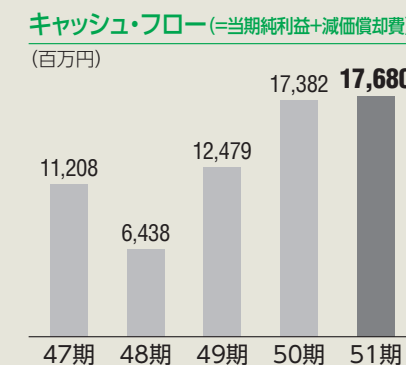
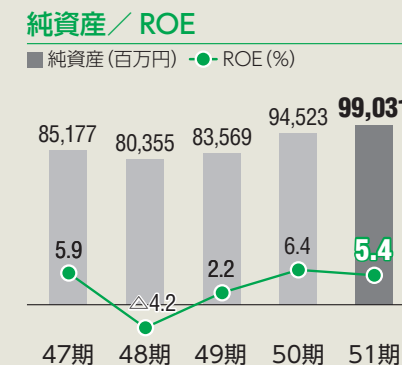
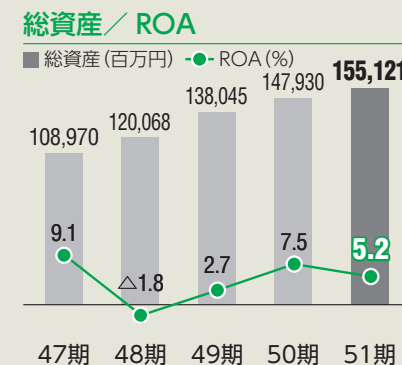
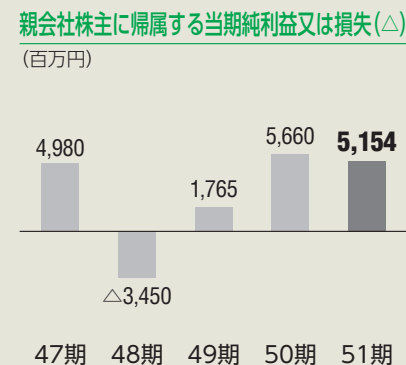
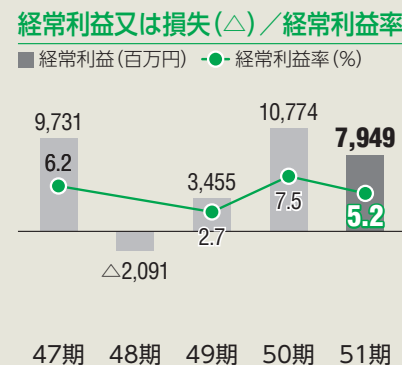
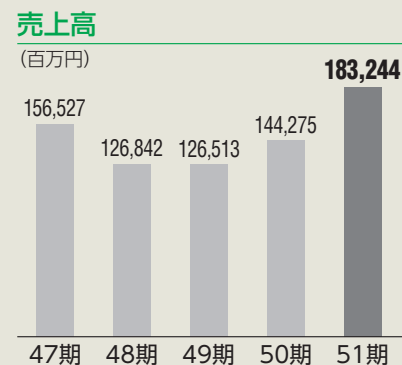
サイゼリヤの強みの一つである店舗作業は生産性に直結します。よりお客様により喜んでいただけるメニューの絞り込みや、セルフレジ、テーブルトップオーダー等DXにも積極的に進めてまいります。また自社工場を活用し作業工程数を減らすことで、店舗が楽になるような製品開発につながる設備投資を積極的に集中的に行ってまいります。

● 海外事業

～急成長に向けての組織づくり～

新型コロナウイルスや経済成長率鈍化等の外部環境の変化が激しい中、最高売上、店舗数を更新しました。今期は積極的に出店ができる状態となっております。今後の高速出店に伴う急成長に備えて採用や人材育成にちからを入れ、組織体制の強化を行ってまいります。

	第47期 (2019年8月期)	第48期 (2020年8月期)	第49期 (2021年8月期)	第50期 (2022年8月期)	第51期 (2023年8月期)
売上高 (百万円)	156,527	126,842	126,513	144,275	183,244
営業利益又は損失(△) (百万円)	9,599	△3,815	△2,264	422	7,222
経常利益又は損失(△) (百万円)	9,731	△2,091	3,455	10,774	7,949
親会社株主に帰属する 当期純利益又は損失(△) (百万円)	4,980	△3,450	1,765	5,660	5,154
総資産 (百万円)	108,970	120,068	138,045	147,930	155,121
純資産 (百万円)	85,177	80,355	83,569	94,523	99,031
自己資本比率 (%)	77.6	66.4	60.1	63.5	63.5
1株当たり当期純利益 又は損失(△) (円)	101.48	△70.84	36.31	115.91	105.62
1株当たり配当金 (円)	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00



セグメント別概況

日本 新型コロナウイルス感染症への行動制限が緩和されたことで、客数は回復傾向にあります。しかしながら、資源価格の高騰と円安による食材価格やエネルギー価格の上昇などの影響により、売上高は1,204億82百万円(前期比19.1%増)、営業損失は14億91百万円(前期は21億1百万円の営業損失)となりました。

豪州 当社で使用する食材の製造等を行っており、売上高は74億49百万円(前期比30.9%増)、営業利益は2億48百万円(前期比100.6%増)となりました。

アジア 中国政府のゼロコロナ政策による度重なるロックダウンの影響はあるものの、行動規制も徐々に緩和され、消費の回復から売上高は順調に推移いたしました。また新規出店を継続的に進めたことなどにより、売上高は627億40百万円(前期比45.5%増)、営業利益84億50百万円(前期比278.2%増)となりました。

次期の見通し

外食業界におきましては、引き続き食材価格及び資源価格の高騰や、人手不足による人件費の上昇傾向など、厳しい状況が続いていくものと考えております。またデジタル化の加速により経営環境は大きく変化していくと想定されます。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、真のチェーンストアに向け出店戦略、販売戦略を推進してまいります。また、利益体質強化のため、店舗のマネジメント力を向上、店舗や工場での食材ロスの削減、店舗や工場の設備改善による作業の生産性を向上してまいります。

以上のことから、当社の連結会計年度の業績予想は、売上高2,110億円、営業利益131億円、経常利益128億円、親会社株主に帰属する当期純利益82億円を見込んでおります。

	第51期 実績 (2023年8月期)	第52期 予想 (2024年8月期)
売上高 (百万円)	183,244	211,000
営業利益 (百万円)	7,222	13,100
経常利益 (百万円)	7,949	12,800
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,154	8,200

連結貸借対照表

科 目	第50期 (2022年8月期)	第51期 (2023年8月期)
資産の部		
流動資産	78,935	87,654
現金及び預金	60,275	67,855
売掛金	1,089	1,508
テナント未収入金	1,493	2,017
商品及び製品	10,093	10,220
原材料及び貯蔵品	1,512	1,305
その他	4,470	4,747
固定資産	68,994	67,466
有形固定資産	52,487	50,664
建物及び構築物（純額）	25,482	25,227
機械装置及び運搬具（純額）	1,527	1,403
工具、器具及び備品（純額）	4,086	3,827
土地	6,971	6,847
リース資産（純額）	57	47
使用权資産（純額）	13,669	12,826
建設仮勘定	692	484
無形固定資産	367	427
投資その他の資産	16,140	16,374
投資有価証券	279	279
敷金・保証金	10,547	10,718
建設協力金	51	29
長期貸付金	30	30
繰延税金資産	5,069	5,182
その他	174	147
貸倒引当金	△ 12	△ 12
資産合計	147,930	155,121

(単位：百万円)

科 目	第50期 (2022年8月期)	第51期 (2023年8月期)
負債の部		
流動負債	22,840	39,480
買掛金	5,769	8,513
1年内返済予定の長期借入金	—	12,500
リース債務	5,779	6,366
未払法人税等	2,160	1,472
賞与引当金	930	1,541
株主優待引当金	218	207
資産除去債務	286	243
その他	7,696	8,635
固定負債	30,566	16,609
長期借入金	12,500	—
株式給付引当金	1,114	1,251
リース債務	9,240	7,649
繰延税金負債	33	4
資産除去債務	7,560	7,601
その他	116	102
負債合計	53,407	56,090
純資産の部		
株主資本	85,455	89,802
資本金	8,612	8,612
資本剰余金	10,872	11,201
利益剰余金	73,114	77,377
自己株式	△ 7,143	△ 7,388
その他の包括利益累計額	8,430	8,767
為替換算調整勘定	8,430	8,767
新株予約権	637	461
純資産合計	94,523	99,031
負債・純資産合計	147,930	155,121

連結損益計算書（要旨）

科 目	第50期 (2021年9月1日から 2022年8月31日まで)	第51期 (2022年9月1日から 2023年8月31日まで)
売上高	144,275	183,244
売上原価	53,223	72,747
売上総利益	91,051	110,497
販売費及び一般管理費	90,628	103,274
営業利益	422	7,222
営業外収益	11,020	1,384
営業外費用	669	657
経常利益	10,774	7,949
特別利益	195	226
特別損失	2,351	1,248
税金等調整前当期純利益	8,617	6,927
法人税、住民税及び事業税	2,132	1,907
法人税等調整額	823	△ 133
法人税等合計	2,956	1,773
当期純利益	5,660	5,154
親会社株主に帰属する当期純利益	5,660	5,154

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

科 目	第50期 (2021年9月1日から 2022年8月31日まで)	第51期 (2022年9月1日から 2023年8月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	21,841	20,799
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,456	△ 5,906
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 16,466	△ 8,163
現金及び現金同等物に係る 換算差額	4,625	849
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,545	7,579
現金及び現金同等物の期首残高	52,730	60,275
現金及び現金同等物の期末残高	60,275	67,855

(単位：百万円)

連結株主資本等変動計算書

第51期（2022年9月1日から2023年8月31日まで）

(単位：百万円)

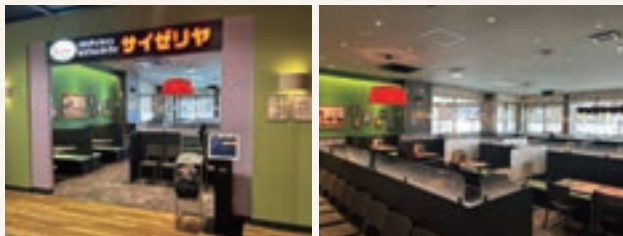
	株 主 資 本					その他の包括利益累計額		新 株 予 約 権	純 資 産 合 計	
	資 本 金	資 剰 余 金	本 利 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	為 替 換 算 調 整 勘 定	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計			
2022年9月1日残高	8,612	10,872	73,114	△ 7,143	85,455	8,430	8,430	637	94,523	
当期変動額										
剰余金の配当			△ 891		△ 891				△ 891	
親会社株主に帰属する当期純利益			5,154		5,154				5,154	
自己株式の取得				△ 1,000	△ 1,000				△ 1,000	
自己株式の処分				755	1,084				1,084	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						336	336	△ 175	160	
連結会計年度中の変動額合計			328	4,263	△ 245	4,346	336	336	△ 175	4,507
2023年8月31日残高	8,612	11,201	77,377	△ 7,388	89,802	8,767	8,767	461	99,031	



Topics



新商圈に続々OPEN!



2022年12月に四国初出店の香川県、2023年5月に青森県に新店舗がOPENし、毎日多くのお客様にご来店いただいています。今後も新商勢圏へ出店はもちろん既存店の改装により、より多くのお客様に喜んでいただきます。



おいしくて健康的なイタリアの家庭料理を世界中から!



年4回のメニュー改定で新商品開発やサラダ、ドリア、パスタ、ピザなど既存核商品を原材料から磨き上げを行っています。その日の気分でコーディネートできることで、毎日来ても楽しめる豊かさを追求しております。

株主優待制度に関するお知らせ

より多くの株主様に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として、右記表の区分により、当社グループ店舗にてお使いいただける御食事券を年1回贈呈いたします。

年1回御食事券贈呈!

優待品内容

割当基準日の保有株式数にて優待内容が決まります。

所有株式数	割当基準日	優待品内容
100株以上500株未満	8月31日	2,000円御食事券 (500円券×4枚)
500株以上1,000株未満		10,000円御食事券 (500円券×20枚)
1,000株以上		20,000円御食事券 (500円券×40枚)

割当条件

100株以上を継続保有していることを割当条件とさせていただきます。詳細はホームページ「会社情報・IR新着情報」をご確認ください。



会社概要 (2023年8月31日現在)

会社概要

商号	株式会社サイゼリヤ
代表者	代表取締役会長 正垣 泰彦 代表取締役社長 松谷 秀治
本社	〒342-0008 埼玉県吉川市旭2番地5
設立	1973年5月1日
資本金	86億1,250万円
従業員数	正社員 3,980名(連結)
店舗数	1,540店舗 (国内1,055店舗、海外485店舗)

株式の状況

発行可能株式総数	73,208,000株
発行済株式の総数	52,272,342株
株主数	51,709名

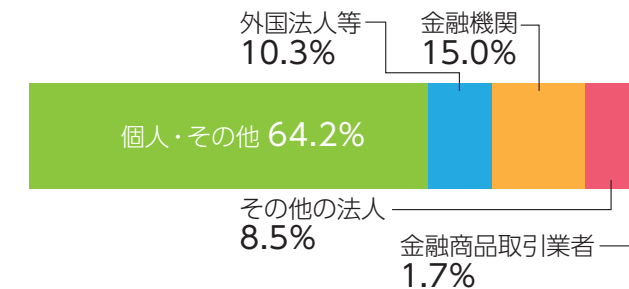
大株主

株主名	所有株式(株)	出資比率(%)
正垣 泰彦	15,248,892	30.77
株式会社バベット	4,200,516	8.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,570,100	7.20
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,891,400	5.83
サイゼリヤ従業員持株会	1,567,343	3.16
MSIP CLIENT SECURITIES	683,300	1.38
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	626,300	1.26
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	392,482	0.79
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	391,700	0.79
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	324,161	0.65

役員 (2023年11月28日現在)

代表取締役会長	正垣 泰彦
代表取締役社長	松谷 秀治
取締役	長岡 伸
取締役常勤監査等委員	中嶋 靖雄
社外取締役監査等委員	松田 道春
社外取締役監査等委員	荒川 隆
社外取締役監査等委員	江口真理恵

所有者別株式数分布状況



所有者別株主数分布状況

